

嗟峨御所

永宣肯

藤原咏光

旨任豊後大塚之肯

御気久之所維や

者執達如件

嘉永三年十二月十八日

前大僧正（花押）奉

乍憚口上

一、御町中御鬘肩様美御機嫌事被遊御座

恐悦至極に存じ奉ります諸紙上甚だ略儀ながら

口上を以て申し上げます 失礼の段平に御容赦に

預り度希上げ奉ります

兼て御引立を蒙り居ります当常磐津流家元は

元祖宮古路豊後塚より十数代連綿として

繁栄いたし流儀も隆冒仕り居ります儀是全く

御鬘肩様方の御余光と私初め門弟一同厚く

御礼申し上げます殊に祖文字太夫は近世の名人

との御評判を頂き、右に掲たる如く畏くも嗟峨乃

御所より御墨付受領の榮譽を得ましたが私

老齢に相成りますに付御鬘肩様始め各門弟中

より右名義襲名いたすやう■らお勧めに

預りましたので鳴瀬がましくも常磐津

豊後大塚を襲名いたし退隠之上具息

小文字太夫若年未熟なれども文字太夫と改め

十五代目を相続いたさせますに付き私同様

栄久敷御愛顧御引立を賜り行ては家元

として恥かしからぬ立派なる太夫とも相成られ

ますやう御鼻肩御引立之ほど永当く

隅から隅までずういと希上げ奉りま寿

文字太夫改

常磐津豊後大塚

敬白

大正十五年五月二十七日二十八日両日

京都歌舞伎座に於て御披露申上候